

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問

【質問日】 令和7年3月3日（月）

【個人質問】

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	今 塩 屋 裕 一	1 空家対策・利活用について (1) 空家の状況・計画の進捗状況は ・ 相談内容・調査状況等の現状を伺う。 (2) 空家対策への補助及び空家利活用について、どうアプローチしているか。 (3) 管理不全空家及び特定空家の認定基準及び認定前・認定後の流れは (4) 管理不全空家と特定空家への指導・勧告方法は (5) 管理不在空家と特定空家の現状・今後の課題は (6) 管理不在空家と特定空家に認定された件数は (7) 独自に法定外目的税を創設する考えは (8) 空家対策への更なる補助厚遇化で地域内経済循環の動きにつながると考えるが見解は 2 企業誘致対策について (1) 本市における企業誘致政策は (2) 企業立地の直近の状況を伺う。 (3) 企業誘致対策に思い切った政策をとるべきでは ・ 立地企業に対し、電気代の90%を補助する等の考えは (4) 熊本県へのTSMC立地をはじめ、九州全体において企業立地が活発化している。本市の対応は (5) 企業立地に対する市長の熱い想いを伺う。 3 日本版ライドシェアについて ・ 本市においても運用開始されるところであるが、運用内容・当局からのバックアップ体制や今後の展望は
2	屋 久 弘 文	1 カスタマーハラスメント（カスハラ）に係る対応について (1) 現状で、カスハラに関する相談・事案が市に寄せられていないか。 (2) 相談・事案があった場合に、市としてはどのように対応しているか。 (3) 今後、カスハラ対応に関して市で検討していることはないか。 (4) 指定管理等の市が業務委託している事業所での対策はどう考えているか。 (5) 相談窓口の設置や研修等は実施できないか。 2 市道の道路標示の点検・補修について (1) 市道を全て点検し、必要な箇所にラインを引き直す考えはないか。 (2) 湯田町の道路標示に係る補修を、事故発生等のおそれもあるため、早急に実施できないか。 (3) 県や県公安委員会に対して、市として意見書や要望書を提出する等の対応をする考えはないか。 3 河川愛護作業・道路愛護作業の実施期間等について (1) 両愛護作業の実施期間を見直す考えはないか。 (2) 道路愛護作業については、実施期間を通年とし、その都度、謝金を支払

		う考えはないか。 4 災害時の避難所及び選挙の投票所の見直しについて (1) 空調設備が整った避難所を指定する考えはないか。 (2) 空調設備が整った投票所に見直すべきではないか。 5 市営墓地の今後の在り方について (1) 「墓じまい」の相談に、現状どのように対応しているか。 (2) 市営墓地内に「合同墓」、「合祀墓」等を整備する考えはないか。
3	上 野 真 一	1 農業の振興について (1) 加工用米から一般米への作付の移行が懸念されるが、加工用米への支援をどのように考えるか。 (2) 熱中症で救急搬送した人数を年度別に示せ。 2 農畜産物及び特産物のPRについて (1) 令和7年度の主なイベントは (2) 地元産の物をキッチンカーと協力してPRできないか。 3 人口流出防止・移住定住促進について (1) 小学生・中学生に将来何になりたいか、アンケートを行ったことがあるか。 (2) 児童・生徒の保護者に子どもに何の職業に就いてほしいか、アンケートを行った結果があるか。 4 SNS・ネット上での誹謗中傷書き込みへの対策について (1) 相談窓口の設置場所及び拡充について問う。 (2) 人権侵害防止普及活動を実施する考えはあるか。
4	富 吉 雄 二	1 川内川水系隈之城川等河川及び春田川管理について (1) 令和2年以降水害のあった、川内川水系隈之城川、木場谷川、百次川、勝目川、都川、平佐川の6河川それぞれの被害状況とその原因を伺う。 (2) 特定都市河川流域になぜ春田川は含まれていないのか伺う。 (3) 隈之城川流域の水害防止対策を伺う。 (4) 令和4年3月議会における水門管理人の高齢化対策について、水門の無動力化、遠隔操作化、業務委託を国・県に協議、要望するとの答弁であったが、対応状況を伺う。 (5) 川内川水系隈之城川が2024年11月1日に特定都市河川に指定されたことによる周辺住民のメリット、安心・安全について (6) 令和6年11月1日以降における流域水害対策協議会の設置及び開催の内容を伺う。 (7) 流域水害対策計画策定の内容を伺う。 (8) 周辺住民への指定内容の周知徹底を伺う。 2 本市における郷土館の維持・管理について (1) 社会教育課所管の郷土館は全部で何館あるか伺う。 (2) 第1回郷土館運営協議会の結果（各郷土館の入館状況、令和5年度事業実績、令和6年度事業計画）を伺う。
5	宮 野 健 一	1 本市の持続可能な医療・介護体制の在り方について (1) 高齢化と人口減少で財政運営が厳しくなると予想される国民健康保険事業と介護保険事業の財政状況及び第3次総合計画期間の介護保険料及び国民健康保険税の見積りを示せ。 (2) 両事業に係る課題認識と第3次総合計画期間での課題解決のための取組は何か。

		(3) 介護予防に関わるいちき串木野市のころばん体操等の取組と成果（介護保険料766円／月の低下）をどのように評価しているか。 (4) 持続可能な医療・介護体制の確立のため、大学等の最新の研究成果とDXを活用して成果を見える化した医療費・介護費用低減のための市民参加型実証実験（科学的アプローチ）に取り組み、当該成果を段階的に全市民へ普及すべきと考えるが、当局の所見を問う。 2 第3次薩摩川内市総合計画における医療福祉に関わるDXの具体的施策について (1) 鹿児島県においては発達障害等の特別支援学級に在籍する児童生徒数が全国（2007年度比3.3倍）に比べ大幅に増加（同年度比7.3倍）しているが、本市における自閉症・情緒障害の児童生徒数の現状を示せ。 (2) 甕島在住の療育を必要とする子どもへの支援内容を問う。 (3) 甕島の療育を必要とする子ども及び保護者の負担軽減のためのDXを活用したリモート療育の施策を取り入れるべきと考えるが、当局の見解を問う。 3 離島・中山間地域を維持するための新たな社会システムの構築について (1) 道路維持管理（草刈り）に関わる現状について (2) 海岸漂着物の処理等の現状について (3) 離島及び中山間においては、地域住民のボランティアによる環境整備等の社会インフラの維持が困難になりつつある。このため、各省庁が進める地域活性化の様々な施策を参考に地域社会が雇用を生み存続可能となる新たな社会システムを構築するための机上研究を行い、当該結果に基づきモデル地区において実地に検証プロジェクトを行ってはどうか、当局の見解を問う。 4 「結Line こしき」及び高速船の運賃改定に関わる課題と対策について (1) 運賃値上げに対する影響を軽減するための対策を考えていないか。 (2) 準島民の認定基準及び現在の認定の状況を示せ。 (3) 関係人口を確保するためにも島民ではないが、一定期間以上在住し、かつ、島民にとって有用な人材も準住民とするなど、認定基準を見直してはどうか、当局の見解を問う。
--	--	---